学校間交流
～関西大学の学生との交流学習～

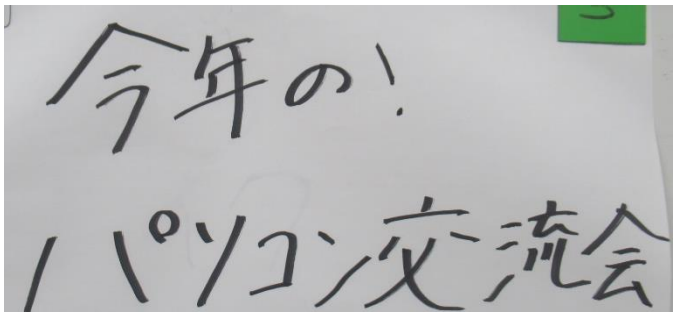
本校・訪問教育部：進路指導主事

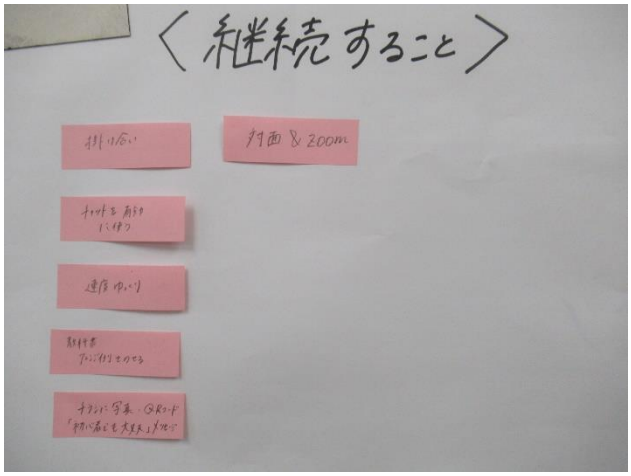
２０２３年２月１４日（火)、関西大学総合情報学部の学生が３名来校し、本校教育部の高等部の生徒２名と交流学習をしていただきました。主なテーマは、「2023 年度のパソコン交流会について考えよう」というものです。2022 年度のパソコン交流会を振り返り、来年度に活かすため、当日に参加してくれた大学生たちと企画会議をしてもらう形です。

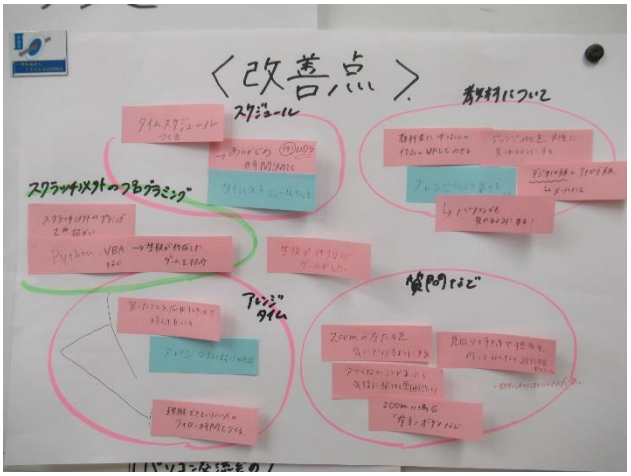
さらに、今回の交流では教員が介入することは極力抑え、生徒たちが大学生と主体的に対話しやすくなるような場面設定をしました。授業の終わりには、５名が力を合わせて出した改善点や目標などについて、プレゼンテーションをしてもらいました。パソコンを使う学びに興味がある生徒たちにとって、情報系の学問を修めている大学生との交流は、非常に刺激的なものとなりました。

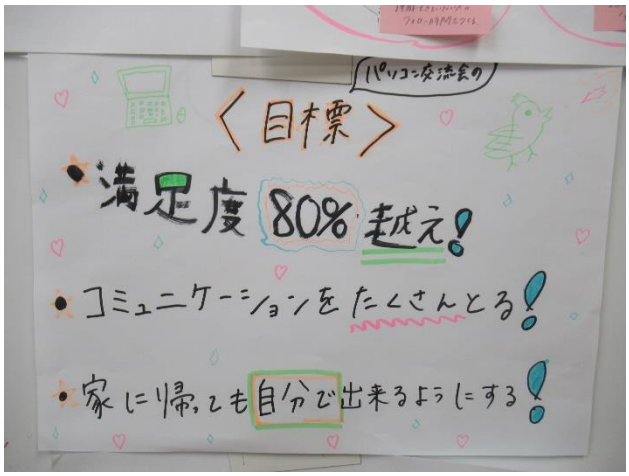
▼交流学習の様子

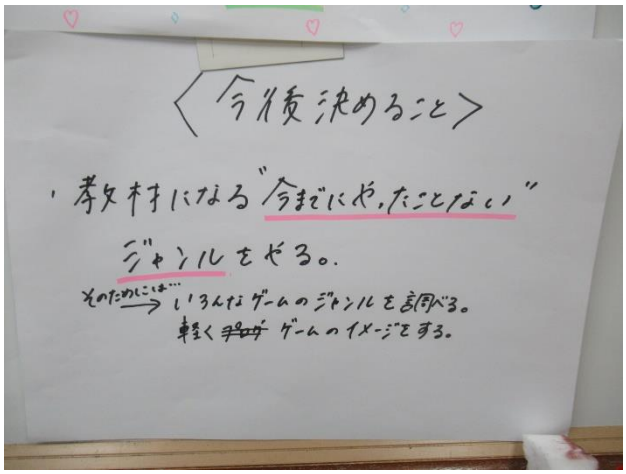
最初は緊張している生徒たちでしたが、自己紹介および他己紹介のアイスブレイクを通して次第に打ち解けていきました。来年度のパソコン交流会について考える際には、紙とペン、付箋を活用する、いわゆる KJ 法でアイデアを次々と出していきました。











▼たくさんの意見やアイデアをまとめ、プレゼンテーションの資料にした様子

2022 年度のパソコン交流会では Google フォームを活用して参加者からたくさんの意見や感想をいただいていました。一つひとつの言葉を真摯に受け止め、「継続すること」と「改善点」をまとめていきました。「対面＆Zoom の方式は好評だから継続したいね」「アレンジタイムをもっと大切にしていきたいよね」など 5 人で話し合いました。

そして「目標」と「今後決めること」を決定しました。目標は「満足度 80%越え」など、今後決めることは「今までにやったことのないジャンルに挑戦するために、色んなジャンルのゲームについて調べる」などが決まりました。

教員へのプレゼンテーションでは 5 人それぞれで役割を分担し、見事な発表をしてくれました。大学生とゼミ活動をしているような経験は、生徒たちにとって非常に新鮮で、多くの学びがありました。関西大学の学生の皆様、本当にありがとうございました。